

牛群検定ビッグデータ（その29） ～除籍理由の月別変化について～

牛群検定のビッグデータからわかるいろいろなことを本 コーナーで紹介していきます。

図は、全国の除籍牛について除籍年月毎に「乳房炎」「繁殖障害」「死亡」の割合をグラフにしたものです。

（期間は2018年1月から2022年12月までの5年間。なお本集計では「乳用売却」「その他（農家除籍）」は除いています。）

夏場に除籍となってしまう牛はその他の季節と比べると増える傾向にあり、その理由も少し変化します。

本グラフでは季節変化のある3つの除籍理由の月別変化を記載しました。夏場にかけて「乳房炎」や「死亡」の理由で除籍する牛が多くなり、逆に「繁殖障害」の理由で除籍される牛の数が減少します。「乳房炎」は北海道で「死亡」は都府県で夏場の除籍理由として多く報告されるようです。

今年は特に異常ですが、ここ最近猛暑となることが多いので、毎年の状況（乳量や除籍頭数）を牛群検定を使って確認しましょう。

除籍理由の月別変化（全国）

